

# 第9回あいづ創生市民会議資料

平成28年1月13日



株式会社 日本経済研究所  
Japan Economic Research Institute Inc.

# 目次

## テーマ：計画策定に向けたキャッチフレーズの作成

1. 本日の狙い／テーマについて
2. 市民会議における議論の整理
3. 総合計画のイメージ
4. 本日の作業／発表
5. 今後に向けて

## 本日の狙い／テーマについて

市民会議のまとめとして、各分科会毎のキャッチフレーズを考えていただきます。

会津若松市のこれまでの総合計画の計画期間は概ね10年間ですが、これまでの市民会議におけるご議論を踏まえ、さらに長い将来においても通用するコンセプトを期待しております。

また、会津若松市の計画であることが前提ですが、当市が会津地域を牽引していく中心都市であることを想定したもので構いません。

今回の総合計画では、会津若松市を、住んでいる人々が住み続けるだけでなく、市外の人々を惹きつけ、仲間に入りたくくなるようなまちにするためにどうするかを考えていく予定です。

そのため、まず、市内外に会津若松市の良いところをアピールするキーワード、あるいは、こういうまちになりたいと考えるキーワードを思い浮かべていただきます。そこから、分科会のキーワード、さらにキャッチフレーズという順番で考えていきたいと思っております。

# 市民会議における議論の整理

市民会議では、会津若松市に、住んでいる人々が住み続けるだけでなく、市外の人々を惹きつけ、仲間に入りたくなるようなまちであるためにはどうすれば良いのか、皆さんと考えてきました。

○会津らしい特色(歴史、文化、自然、人…)

○住んでいる人の自分のまちに対する誇り(自分のまちを“良いまち”と言える)

○生き生きと暮らしている(自分のまちが好き)

雪などの課題を克服した持続可能なまちを土台として、これらの要件を満たすまちづくり(下記1~4)を行っていく方向性を描くことが出来たと思います。その先に、「まちづくりのコンセプト」があります。

1:会津若松らしい→まち・ひと・しごとの創生

2:住んでみたい、住み続けたいまち

→暮らしやすさがあるまち・会津らしい仕事があるまち

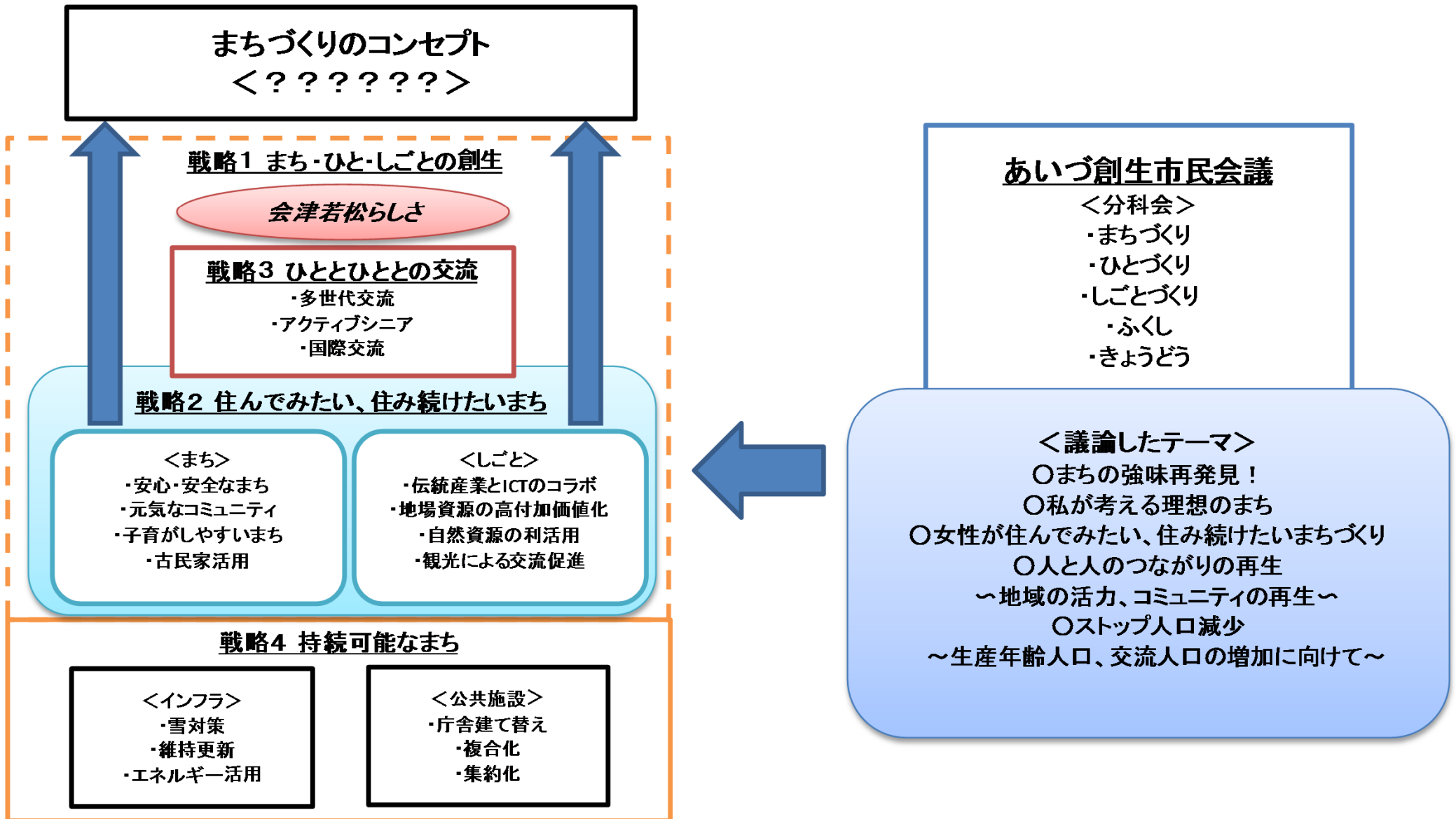
3:ひととひととの交流

→年代や国籍などを問わない様々な交流が実現しているまち

4:持続可能なまち

→雪に強いまち・エネルギー効率の高いまち

# 市民会議における議論の整理



# 総合計画の策定イメージ

## <第7次総合計画構成案>

### I. プロローグ

- ・計画の背景
- ・会津若松市の未来への提案

### II. 基本構想

- ・計画の基本フレーム

- ・まちづくりのコンセプト

- ・基本ビジョン

- ・基本ビジョンの実現に向けた政策／施策の体系

### III. 基本計画

### IV. 総合計画策定の経過と提案、意見集

### V. 総合計画の進行管理

本日の会議で出たキーワードの活用

# 作業

## ○作業1

キーワードキャッチフレーズをポストイットに記入

## ○作業2

・各自の発表(5分)

全体キーワード



分科会キーワード



分科会キャッチフレーズ

## ○作業3

分科会のキャッチフレーズを選定

## ○作業4

発表



ありがとうございました。